土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川太田川水系権地川支川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	A-Box-1(R3)	調査位置	広島県広島市安佐南区長東町	北緯	34° 25' 47.6412"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 3月 3日～ 令和4年 3月 7日	東経	132° 26' 28.7643"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 140.38m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西
総削孔長	4.00m	地盤勾配	47° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B / エンジン：ヤンマー NFD12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	140.13	0.25		砂		暗褐			表土。腐植土からなる。	
1				花崗岩		淡灰			花崗岩(軟岩)。 岩組織を明瞭に残す。 岩片硬質な片～柱状コア主体で採取。 コア長5～20cm程度。 全体に亀裂が発達する。 亀裂面は酸化して褐色を帯びる。 深度1.9～2.1m間、試料は碎状～外周を残す片状コアで採取。 深度1.6m付近より湧水がみられる。 深度2.9m以深、全湧水。	
2										
3										
4	136.38	4.00								
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	2.00	50			50	50	
	2.05	50			50		
50以上	3.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	4.00	貫入不能			50 / 0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				3/4